



(題字 小黑千足 学長)

第376号

(平成8年4月号)



▲ 平成8年度入学式 円内は新入生を代表して宣誓する教育学部中学校  
教員養成課程澤木潤一郎君 (平成8年4月10日：富山市公会堂)



目 次

学 長 告 辞

◆ 平成8年度富山大学入学式を挙行 ..... 3

関 係 法 令 ..... 4

学 内 規 則 ..... 5

諸 会 議 ..... 12

学 事

◆ 学位取得者 ..... 13

◆ 平成8年度外国人受託研修員の受入れ ..... 13

学 内 諸 報

◆ 平成8年度富山大学大学院教育学研究科  
入学式を挙行 ..... 14

◆ ロシア連邦イルクーツク国立外国語教育大学  
英語学部と学部間交流協定を締結  
(人文学部) ..... 14

◆ 就職に関する説明会を開催 ..... 15

◆ 海外渡航者 ..... 15

職 員 消 息

◆ 新任者住所 ..... 16

◆ 住所変更 ..... 19

主 要 行 事 ..... 20

資 料

◆ 平成8年度入学者数一覧 ..... 23



学生生活へ夢いっぱい1,861名の入学

## 平成8年度富山大学入学式を挙行

— 平成8年4月10日（水）富山市公会堂 —

平成8年度富山大学入学式が、平成8年4月10日（水）午前10時30分から富山市公会堂において挙行されました。

まず、小黒学長から学部入学生1,561名、大学院入学生300名、合計1,861名（うち外国人留学生44名を含む。）の新入生に入学許可宣言があり、続いて学長から告辞がありました。

これに対して、新入生を代表して教育学部中学校教員養成課程澤木潤一郎君が「私たち新入生一同は、在学中

学則を守り、自己の研鑽に努め、さらなる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力いたします。」と力強く宣誓し、入学式を終了しました。

式終了後、新入生を歓迎して本学合唱団、ギター・マンドリンクラブ及びフィルハーモニー管弦楽団による合唱及び演奏があり、引き続き教養教育、学生部・保健管理センターのオリエンテーションが行われました。



▲ 小黒学長から入学許可宣言を受ける新入生



▲ 式場へ入る新入生

### 入学式学長告辞（全文）



学長 小黒千足

本日富山大学の各学部および大学院研究科に入学を許可された諸君に、全学の教職員を代表して、心からお祝いを申し上げます。特に、初めて大学に足を踏み入れる、学部学生の諸君は、感慨も深いと思います。

苦しかった受験期が終わり、これからは胸をはって、大学生として歩み出すことができるのです。

では、大学生となることは、何を意味し、どのような意義があるのでしょうか。いま、それを真剣に考える必要があります。当然のことながら、大学に入学することが、諸君の最終目的であるはずがありません。と、するならば、大学で学ぶことは、次の段階へのステップでありましょう。

大学に合格した嬉しさのあまり、次の段階を目指し、在学中に何をなすべきかを忘れることが多いものです。この時にあたり、まず諸君の一人一人が、何のために大学に入学したのか、将来いかにありたいか、いま一度真剣に問い直す必要があります。

さて、個々の学生の将来への希望はさておき、大学でなすべきことは、次の三点に集約されます。すなわち、高度の知識と技術を習得すること。次に、高い教養を身に付けることであり、第三点目として、人格を磨くことが挙げられます。これらには、優先度は無いのかもしれませんが、人としての重要度は、今述べた順序とは逆であることを銘記しておく必要があります。

まして、大学を単なる就職予備校のように考えるのは、大きな誤りであり、そのような発想は、諸君に何物も与えないでしょう。先ほど挙げた三点を身につけた結果として、希望する就職と、明るい将来が待っていることを心にとどめるべきです。

これから始まる4年間をいかに過ごすかによって、その後永く続く諸君の人生が決定されると言っても、過言ではありません。安易に墮して勉学を怠り、易きに流れて人格を磨くことを忘れた場合には、将来に必ずや悔いを残すでしょう。この点を強く心に留めておくことを希望いたします。

次に、入学に当たり、諸君がこれまでに受けた教育と、大学のそれが全く異なることを説明しておく必要がある

と考えます。

大学の教育は、基本的に、高度の学問と研究に裏付けられたものです。大学の教官は、それぞれの研究結果、独自の情報、あるいは自らの信念に基づいて教育を行います。したがって、高校で用いたような、全国共通の教科書などは一切用いません。どこの大学の講義も、実験も、同一のものは無く、すべて異なります。たとえ、講義の名称が同じでも、内容は異なり、教官の哲学が違います。

諸君が、どの学部に関し、何を専攻しようとも、今述べたことの意義を十分に理解し、先に挙げた三点を十分に体得することを目標に、悔いのない大学生活を送ることを願って、告辞を終わります。

## 関 係 法 令

### (府 令)

- 寒冷地手当支給規則の一部を改正する総理府令（総理8）（平8. 4. 1 官報第1862号）

### (省 令)

- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（文部10）（平8. 4. 1 官報号外第78号）
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令（大蔵25）（平8. 4. 5 官報第1866号）

### (規 則)

- 人事院規則9-1（非常勤職員の給与）の一部を改正する人事院規則（人事院9-1-13）（平8. 4. 1 官報号外第78号）

- 人事院規則9-6（俸給の調整額）の一部を改正する人事院規則（同9-6-26）（同上）
- 人事院規則9-8（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則（同9-8-28）（同上）
- 人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（同9-17-54）（同上）
- 人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正する人事院規則（同9-30-30）（同上）

### (告 示)

- 平成9年度科学研究費補助金国際学術研究による研究課題を公募する件（文部65）（平8. 4. 2 官報第1863号）
- 教員の免許状の所要資格を得させるための養護教諭養成機関として指定した件（文部79）（平8. 4. 11 官報第1870号）

# 学 内 規 則

## 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正

### 富山大学大学院教育学研究科規則の改正理由

平成8年度に大学院教育学研究科（修士課程）教科教育専攻が整備（国語教育専修及び美術教育専修の設置）されることに伴い、所要事項を改める。

富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成8年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

### 富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院教育学研究科規則（平成6年3月14日制定）の一部を次のように改正する。

第2条中「教科教育専攻」の下に「国語教育専修」を、「理科教育専修」の下に「美術教育専修」を加える。

別表第1（第3条関係）中「⑤ 家政教育専修」を「⑦ 家政教育専修」に、「④ 技術教育専修」を「⑥ 技術教育専修」に、「③ 保健体育専修」を「⑤ 保健体育専修」に、「② 理科教育専修」を「③ 理科教育専修」に改め、「③ 理科教育専修」の次に次の1表を加える。

#### ④ 美術教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ（教育学系）	2		修得単位数 30単位以上  ① 学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ② 教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択 ③ 課題研究 4単位必修 ④ 自由選択科目 6単位選択 ⑤ 修士論文 必修
	学校教育研究Ⅱ（教育心理学系）	2		
美術科教育	美術科教育研究	2		
	美術科教育特論Ⅰ		2	
	美術科教育特論演習Ⅰ		2	
	美術科教育特論Ⅱ		2	
絵 画	美術科教育特論演習Ⅱ		2	
	絵画特論		2	
	絵画特論演習Ⅰ		2	
彫 刻	絵画特論演習Ⅱ		2	
	彫刻特論		2	
	彫刻特論演習Ⅰ		2	
デ ザ イ ン	彫刻特論演習Ⅱ		2	
	デザイン特論演習		2	
工 芸	デザイン特論演習		2	
	工芸特論		2	
美術理論・美術史	工芸特論演習		2	
	美術理論・美術史特論		2	
課 題 研 究	美術理論・美術史特論演習		2	
		4		

「① 数学教育専修」を「② 数学教育専修」に改め、「(2) 教科教育専攻」の次に次の1表を加える。

① 国語教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上  ① 学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ② 教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択 ③ 課題研究 4単位必修 ④ 自由選択科目 6単位選択 ⑤ 修士論文 必修
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
国語科教育	国語科教育研究	2		
	国語科教育特論Ⅰ		2	
	国語科教育特論演習Ⅰ		2	
	国語科教育特論Ⅱ		2	
国語学	国語科教育特論演習Ⅱ		2	
	国語学特論Ⅰ		2	
	国語学特論演習Ⅰ		2	
	国語学特論Ⅱ		2	
国文学	国語学特論演習Ⅱ		2	
	国文学特論Ⅰ		2	
	国文学特論演習Ⅰ		2	
	国文学特論Ⅱ		2	
書道	国文学特論演習Ⅱ		2	
	書写教育特論		2	
漢文学	書写教育特論演習		2	
	漢文学特論		2	
	漢文学特論演習		2	
課題研究		4		

附 則

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

### 富山大学学則の一部改正

富山大学学則の改正理由

平成8年度から、工学部に第3年次編入学定員が設けられることに伴い、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成8年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和59年3月12日全部改正)の一部を 別表第1を次のように改める。  
次のように改正する。

別表第1

学 部	学 科 等	入 学 定 員	第3年次編入学定員	収 容 定 員
人 文 学 部	人 文 学 科	70 人		280 人
	国 際 文 化 学 科	40		160
	≡ 口 語 文 化 学 科	85		340
	計	195		780
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	100		400
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	50		200
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	20		80
	幼 稚 園 教 員 養 成 課 程	30		120
	情 報 教 育 課 程	40		160
	計	240		960
経 済 学 部	経 済 学 科	155		620
	昼 間 主 コ ー ス	20		80
	経 営 学 科	120		480
	昼 間 主 コ ー ス	20		80
	経 営 法 学 科	100		400
	昼 間 主 コ ー ス	20		80
	計	435		1,740
	数 学 科	52		208
理 学 部	物 理 学 科	42		168
	化 学 科	38		152
	生 物 学 科	38		152
	地 球 科 学 科	30		120
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30		120
	計	230		920
	電 子 情 報 工 学 科	132	5	538
工 学 部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	101	5	414
	物 質 工 学 科	80		320
	化 学 生 物 工 学 科	79		316
	計	392	10	1,588
	合 計	1,492	10	5,988

備考 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間に授業を行うコースを、「夜間主コース」とは、主として夜間に授業を行うコースをいう。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 別表第1に定める収容定員は、平成8年度及び平成9年度は、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	平成8年度	平成9年度
人 文 学 部	人 文 学 科	280 人	280 人
	国 際 文 化 学 科	160	160
	言 語 文 化 学 科	360	350
	計	800	790
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	400	400
	中 学 校 教 員 養 成 課 程	200	200
	養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	80	80
	幼 稚 園 教 員 養 成 課 程	120	120
	情 報 教 育 課 程	160	160
	計	960	960
経 済 学 部	経 済 学 科	624	620
	日 間 主 コ	80	80
	経 済 学 科	484	480
	日 間 主 コ	80	80
	経 済 学 科	402	400
	日 間 主 コ	80	80
	計	1,750	1,740
	計		
理 学 部	数 学 科	210	209
	物 理 学 科	178	173
	化 学 科	152	152
	生 物 学 科	156	154
	地 球 科 学 科	124	122
	生 物 圏 環 境 科 学 科	120	120
	計	940	930
工 学 部	電 子 情 報 工 学 科	533	538
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	409	414
	物 質 工 学 科	326	323
	化 学 生 物 工 学 科	330	323
	計	1,598	1,598
合 計	6,048	6,018	

富山大学大学院学則の一部改正

富山大学大学院学則の改正理由

- 1 平成8年度に大学院教育学研究科（修士課程）教科教育専攻が整備（国語教育専修及び美術教育専修の設置）されることに伴い、所要事項を改める。
- 2 平成8年度から、大学院工学研究科（博士前期課程）機械システム工学専攻、物質工学専攻及び化学生物工学専攻の入学定員が改訂されることに伴い、所要事項を改める。

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成8年4月1日

富山大学長 小 黒 千 足



## 富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和53年4月1日制定）の一部  
を次のように改正する。

## 別表第1中

教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6	12	を
		教科教育専攻	17	34	
	計		23	46	

教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6	12	に、
		教科教育専攻	23	46	
	計		29	58	

工学研究科	博士前期課程	電子情報工学専攻	30	60	を
		機械システム工学専攻	20	40	
		物質工学専攻	18	36	
		化学生物工学専攻	16	32	
	小計		84	168	
	博士後期課程	システム生産工学専攻	6	18	
		物質生産工学専攻	6	18	
	小計		12	36	
計		96	204		

工学研究科	博士前期課程	電子情報工学専攻	30	60	に、
		機械システム工学専攻	30	60	
		物質工学専攻	27	54	
		化学生物工学専攻	24	48	
	小計		111	222	
	博士後期課程	システム生産工学専攻	6	18	
		物質生産工学専攻	6	18	
	小計		12	36	
計		123	258		

合 計	179	370	を
-----	-----	-----	---

合 計	212	436	に
-----	-----	-----	---

改める。

別表第 2 中

教育学研究科	教科教育専攻 数学教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	数 学 数 学	を
	理科教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	理 科 理 科	
	保健体育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	保 健 体 育 保 健 体 育	
	技術教育専修	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	技 術	
	家政教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	家 庭 家 庭	

教育学研究科	教科教育専攻 国語教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	国 語 国 語 書 道	に
	数学教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	数 学 数 学	
	理科教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	理 科 理 科	
	美術教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	美 術 美 術	
	保健体育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	保 健 体 育 保 健 体 育	
	技術教育専修	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	技 術	
	家政教育専修	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	家 庭 家 庭	

改める。

## 附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 別表第1に定める収容定員は、平成8年度は、次のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻等名	収容定員
人文科学研究科	修士課程	日本・東洋文化専攻	10人
		西洋文化専攻	10
	計		20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	12
		教科教育専攻	40
	計		52
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	8
		企業経営専攻	8
	計		16
理学研究科	修士課程	数学専攻	16
		物理学専攻	16
		化学専攻	20
		生物学専攻	16
		地球科学専攻	16
	計		84
工学研究科	博士前期課程	電子情報工学専攻	60
		機械システム工学専攻	50
		物質工学専攻	45
		化学生物工学専攻	40
		小計	195
	博士後期課程	システム生産工学専攻	18
		物質生産工学専攻	18
		小計	36
	計		231
	合 計		403

**諸 会 議**

## 第1回学生生活協議会（4月8日）

（審議事項）

- (1) 入学式当日における式場内外の整理について
- (2) 第41回大学祭について
- (3) その他

## 第1回年史編纂委員会（4月16日）

（審議事項）

- (1) 年史編纂について
  - ① 年史編集要項（案）について
  - ② 年史執筆要項（案）について
  - ③ 原稿の執筆者について
  - ④ 部局史の項目について

## 第1回部局長懇談会（4月19日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

## 第1回評議会（4月19日）

（審議事項）

- (1) 富山大学名誉教授称号授与について
- (2) 学生の除籍について
- (3) 平成8年度大学祭に伴う休業日について
- (4) その他

## 第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会（4月22日）

（議 題）

- (1) 平成7年度運営費決算（案）及び平成8年度運営費予算（案）について
- (2) 平成8年度放射性同位元素等の使用申請（案）について
- (3) 放射性同位元素総合実験室放射線障害予防規則の改正（案）について
- (4) その他

## 第1回事務協議会（4月23日）

（議 題）

- (1) 当面の諸課題について

## 第1回附属図書館商議会（4月23日）

（審議事項）

- (1) 平成8年度附属図書館運営費について
- (2) 平成8年度大学祭に伴う附属図書館の時間外開館について

## 第1回大学開放事業（夢大学 in TOYAMA）実施調整委員会（4月25日）

（議 題）

- (1) 平成7年度夢大学 in TOYAMA '95の実施結果について
- (2) 平成8年度夢大学 in TOYAMA '96の実施計画について
- (3) その他

## 第1回低温液化室運営委員会（4月26日）

（議 題）

- (1) 平成7年度低温液化室運営費決算（案）について
- (2) 平成8年度低温液化室運営費予算（案）について
- (3) その他

## 第1回授業料等減免選考委員会（4月26日）

（議 題）

- (1) 富山大学授業料等免除及び徴収猶予に関する内規の一部改正について
- (2) 平成8年度大学院入学生の入学料免除者の選考について
- (3) 授業料免除者選考基準について
- (4) その他





## 学 位 取 得 者



学位取得者 経済学部 助教授 白石 俊 輔  
 学位の種類 博士（数理学）（九州大学）  
 取得年月日 平成8年2月21日  
 学位論文名 Directional Derivatives of Nonsmooth  
 Max-Functions and Convex Functions

（微分不可能なマックス型関数と凸関数の方向微分）

論文の要旨 計画数学であつかう代表的な微分不可能な関数であるマックス型関数と凸関数の片側方向微分に着目し、これらの方向微分そのものの基本的性質を研究した。また、その応用としてパラメトリックな非線形計画問題の最適値関数の方向微分を求め感度解析結果を導出した。

## 平成8年度外国人受託研修員の受入れ

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職	研 修 題 目	研 修 期 間	指 導 教 官
マームド モハメド Mahmoud Mohamed サリエム Saliem (エジプト)	国立天文学地球 物理学研究所 Assistant Lecturer	異方性媒質中の表面波	平成8年4月1日 ) 平成8年7月15日	理学部 教授 川崎 一 朗

## 学 内 諸 報

### — 平成8年度富山大学大学院教育学研究科入学式を挙行—

平成8年度富山大学大学院教育学研究科（教科教育専攻：国語、美術教育専修）入学式が去る4月19日（金）午前10時から教育学部大会議室で挙行されました。

まず、田中研究科長から新入生8人に入学許可宣言があり、続いて研究科長から告辞がありました。

これに対して、新入生を代表して磯部真紀さんが「私たち新入生一同は在学中学則を遵守し、専門にかかわる高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うよう努めることを誓います。」と力強く宣誓しました。



### 人文学部、ロシア連邦イルクーツク国立外国語教育大学英語学部と 学部間交流協定を締結

人文学部では、このたびロシア連邦イルクーツク国立外国語教育大学英語学部との間で、学部間学術交流協定を締結しました。

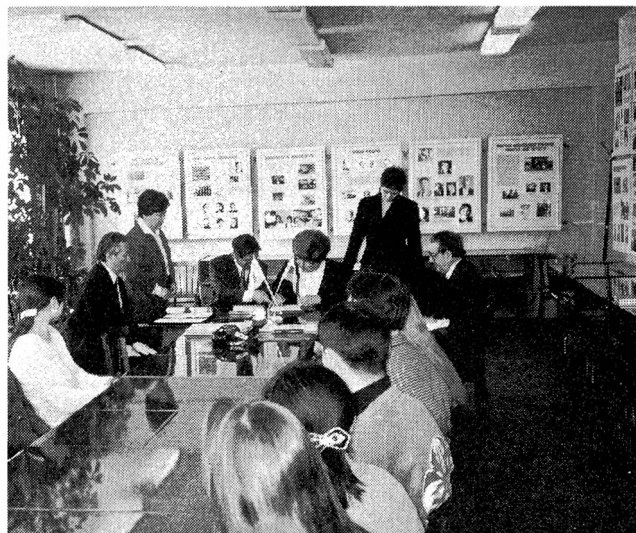
調印は、3月28日にイルクーツク国立外国語教育大学英語学部で行われ、人文学部矢澤教授（学部長代理）とヴリャノバ・ミーナ・ヤコブレフ英語学部長とで協定書を取り交わしました。

今回の協定締結により、両学部間の教官・研究者及び学生の交流並びに情報交換等を今後さらに発展させていくことが確認されました。

イルクーツク国立外国語教育大学は、英語学部、ドイツ語学部、ロマンス語学部、外国語教師養成学部及び国際学部の5学部で構成されており、英語学部は設立当初からある最大の学部で「東洋語講座」内に日本語学科と中国語学科を併設しており、調印終了後、英語学部長の要請で日本語学科の学生約60人と1時間程の懇談会が催されました。懇談会では、最初に富山大学及び人文学部の概要について紹介し、学生たちからは本学における日本語の授業内容や学部の専門教育等についての質問があっ

たほか、留学の経済的な側面、特に「住」の問題に質問が集中しました。

なお、本協定に基づき4月に人文学部から学生2人を派遣し、10月には英語学部から学生3人を受け入れることが決定しています。



## 「就職に関する講演会」を開催

来春卒業見込みの本学学生に対する就職支援活動の一環として、去る4月17日（水）午後1時20分から黒田講堂ホールにおいて「就職に関する講演会」が開催されました。

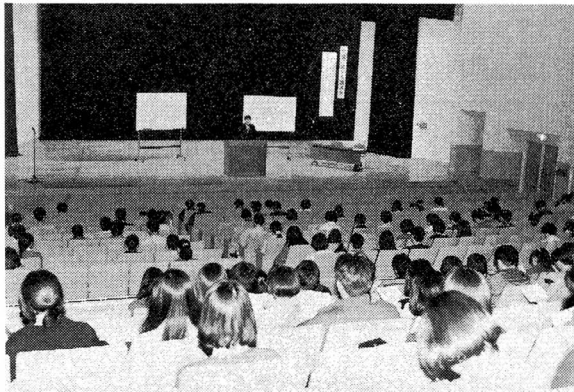
講演会には、「超氷河期」とも言われる民間企業への厳しい就職環境を反映して、第1部、第2部併せて約270人の学生が詰め掛け、熱心に聴講していました。

第1部では、(株)リクルート北陸支社長 太田 浩 氏から、企業が求める人間像や今年の就職戦線の状況、就職活動の進め方等について講演があり、また、その中で

聴講学生に対する模擬面接も行われて、就職に対する十分な心構えが求められました。

引き続き第2部では、富山県教育委員会教職員課の亀遊壽之主幹から、教員を目指す学生のために、富山県の教員採用にかかる需給の現状と教職を目指す人の心構え、採用にいたる具体的な現状等について、自己体験等を交えて講演が行われました。

それぞれの講演とも、厳しい就職環境を反映して、就職活動のノウハウ等を得ようと真剣に聴き入る姿が見受けられました。



▲ 就職に関する講演会



▲ 模擬面接風景

## 海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修	経済学部	教 授	松川 滋	アメリカ合衆国	景気変動にともなう雇用の縮小に関する数量的研究	8. 4. 1 ) 8. 4. 13
	理 学 部	助教授	小田島仁司	アメリカ合衆国	遠赤外分光技術の開発に関する調査・研究	8. 4. 1 ) 9. 4. 10
	経済学部	教 授	武井 勲	ベ ト ナ ム	水産業、福祉及び自動車組立て関係の実情視察と資料収集	8. 4. 5 ) 8. 4. 8
	教育学部	講 師	黒田 卓	アメリカ合衆国	American Educational Research Association Annual Meeting-1996 において発表及び資料収集	8. 4. 6 ) 8. 4. 14
	〃	助教授	布村 忠弘	中華人民共和国	バレーボール全日本チームの国際試合（海外遠征）における健康管理についての調査研究	8. 4. 7 ) 8. 4. 18
	工学部	教 授	森 克徳	中華人民共和国	第6回中国青年超伝導国際会議に出席、講演発表、河南師範大学の超伝導研究グループと研究打合せ	8. 4. 14 ) 8. 4. 27

# 職 員 消 息

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
庶 務 部	文 部 事 務 官 庶 務 課 長	中 野 好 二
〃	文 部 事 務 官 庶 務 課 学 事 調 査 主 任	近 藤 達 也
〃	文 部 事 務 官 人 事 課 職 員 係	横 井 宏 正
〃	文 部 事 務 官 企 画 室 専 門 職 員	高 邑 欣 市
〃	文 部 事 務 官 企 画 室 企 画 係 長	高 尾 邦 彦
〃	文 部 事 務 官 企 画 室 管 理 主 任	田 中 茂
経 理 部	文 部 事 務 官 経 理 部 長	斎 藤 敏
〃	文 部 事 務 官 経 理 課 管 理 主 任	高 瀬 範 和
施 設 課	文 部 技 官 課 長 補 佐	原 光 頼
〃	文 部 技 官 電 気 係 長	野 村 正
〃	文 部 技 官 機 械 主 任	野 尻 謙 二
学 生 部	文 部 事 務 官 学 生 部 次 長	秋 山 武
〃	文 部 事 務 官 学 生 課 長	相 澤 吉 彦
〃	文 部 事 務 官 学 生 課 総 務 係 長	清 水 良 太 郎
〃	文 部 事 務 官 学 生 課 総 務 主 任	山 田 洋 一
人 文 学 部	助 教 授 環 境 地 域 論	竹 内 潔



部局名	官職	氏名
人文学部	講師 歴史文化	澁谷由里 (長井)
〃	講師 行動文化	加藤重弘
〃	講師 国際文化論 関係論	山本富美子
教育学部	教授 国語科教育	安藤修平
〃	助教 音楽科教育	深見友紀子
〃	助教 音楽	坂本麻実子
〃	講師 日本語・ 日本事情	濱田美和
〃	講師 教育情報科学	黒田卓
〃	附属教育実践研 究指導センター 講師	堀田龍也
〃	文部事務官 事務長補佐	刈賀春樹
〃	文部事務官 学務係	津島浩司
〃	事務補佐員 学務係	西塚麗子
〃	事務補佐員 学務係	山本芳枝
〃	附属小学校 教諭	牧野晃
〃	〃	松浦悟
〃	〃	沼崎信行
〃	〃	曲師政隆
〃	〃	高木ひとみ
〃	附属中学校 副校長	山下善路

部局名	官職	氏名
教育学部	附属中学校 教諭	作道正也
〃	〃	京角輝彦
〃	〃	城石和良
〃	附属養護学校 教諭	若山美津彦
〃	〃	脊戸みちる
〃	〃	大村知佐子
経済学部	助教授 比較経済論	木幡伸二
〃	助教授 経営学	清家彰敏
〃	講師 企業関係法	今井克典
〃	助手 管理科学	古賀さゆり
〃	助手 管理科学	小野理恵
〃	文部事務官 会計係	名越真紀子
理学部	助手 生体構造学	唐原一郎
人文学部 理学部	文部事務官 経理主任	田中正博
〃	文部事務官 学務第二係 学生主任	水木節子
〃	文部事務官 用度係	藤田一吉
〃	文部事務官 用度係	本多了
〃	文部事務官 学務第一係	石須良恵
工学部	助手 生物反応科学	藤井孝宣

部局名	官職	氏名
工学部	文部事務官 用度係	岩城 稔
〃	文部技官 計算機工学	大久保 篤志
〃	事務補佐員	中村 紀子
〃	〃	吉村 典子
〃	〃	加藤 幸子
〃	〃	小島 美穂

## 〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
人文学部	教授 ヨーロッパ 言語文化	北村 純一
〃	助教授 環境地域論	筒井 洋一
〃	助教授 日本東洋 言語文化	小助川 貞次
理学部	助手 生体制御学	松田 恒平
〃	助手 反応物性化学	宮崎 隆文
〃	助手 地球進化学	石崎 康男
工学部	講師 生物反応化学	小野 慎

# 主 要 行 事

## 本 部

- 4月2日 ロシア極東国立総合大学長表敬訪問
- 10日 入学式（富山市公会堂）  
教養教育オリエンテーション  
学生部・保健管理センターオリエンテーション
- 10日～11日 平成8年度国立学校施設実態調査  
（東京医科歯科大学）
- 12日 第1回教養教育委員会管理運営専門委員会  
政府調達に関する説明会（東京医科歯科大学）  
外国人留学生（学部新入生）オリエンテーション
- 15日 第1回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 17日 就職に関する説明会（黒田講堂）  
日本語課外補講オリエンテーション  
国際交流委員会留学生部会
- 18日 技術的基準に関する説明会（東京医科歯科大学）  
警察官等採用試験説明会（黒田講堂）
- 18日～19日 東海・北陸地区国立学校等会計系部課長会議  
（愛知教育大学）
- 22日 全国就職指導ガイダンス（東京大学）  
「学位記英訳文」の検討委員会
- 23日 大学・高専奨学事務協議会及び奨学事務説明会（愛知県産業貿易会館）  
学寮防火訓練
- 24日 公務員採用試験に関する説明会（黒田講堂）
- 25日 第2回教養教育委員会管理運営専門委員会  
構内一斉清掃  
富山県大学学生部長懇談会（富山医科薬科大学）
- 26日 平成9年度概算要求ヒアリング

## 人 文 学 部

- 4月5日 学部学生生活委員会  
学部教務委員会
- 10日 大学院人文科学研究科新入学生オリエンテーション
- 11日 教授会

教授会（人事）

大学院人文科学研究科委員会

12日 学部新入生オリエンテーション

新入生健康診断

15日 前学期授業開始

18日 学部教育実習委員会

学部入学者選抜方法検討委員会

22日 学部学生生活委員会

24日 教授会

教授会（人事）

大学院人文科学研究科委員会

## 教 育 学 部

- 4月2日～4日 教育学研究科教科教育専攻（国語教育専修・美術教育専修）入学願書受付
- 3日 学部留学生委員会小委員会  
学部学生生活委員会  
学部教務委員会  
教授会  
人事教授会
- 4日 附属小学校第1学期始業式
- 5日 附属小学校入学式
- 6日 附属中学校及び附属養護学校第1学期始業式
- 8日 学部改組ワーキンググループ  
附属中学校及び附属養護学校入学式  
附属幼稚園始業式
- 9日 教育学研究科教科教育専攻（国語教育専修・美術教育専修）入学試験  
教育学研究科委員会小委員会  
教育学研究科委員会
- 11日 附属幼稚園入園式
- 12日 教育学研究科教科教育専攻（国語教育専修・美術教育専修）合格者発表
- 12日～13日 平成8年度教育学部新入生合宿研修  
（国立立山少年自然の家）
- 15日 学部前学期授業開始
- 16日～17日 教育学研究科教科教育専攻（国語教育専修・美術教育専修）入学手続
- 17日 学部教務委員会



教授会	学部新入生オリエンテーション
人事教授会	新入生健康診断
新入生健康診断	15日 前学期授業開始
19日 教育学研究科教科教育専攻（国語教育専修・美術教育専修）入学式	動物実験委員会（持ち回り）
22日 教育学研究科前学期授業開始	17日 学部情報化対策検討委員会
24日 2, 3, 4年次生健康診断	学科長会議
25日 学部入学試験委員会	23日 理学部案内編纂委員会
26日 学部改組ワーキンググループ	25日 学部入試改善委員会
	30日 学部教務委員会

経 済 学 部
---------

4月2日	ロシア極東国立総合大学長来学
5日	学部教務委員会
8日	教授会
10日	夜間主コース新入生オリエンテーション
12日	昼間主コース新入生オリエンテーション 昼間主コース各学科オリエンテーション 夜間主コース各学科オリエンテーション
	新入生健康診断
15日	前学期授業開始
16日	学部図書委員会 学部学生生活委員会（持ち回り）
17日	大学院経済学研究科小委員会
22日	学部入学方法検討委員会
23日	学部教務委員会
24日	コンピュータ管理運営委員会 学部教務委員会（持ち回り） 大学院経済学研究科委員会
	教授会
25日	論集委員会

理 学 部
-------

4月5日	学科長会議
8日	理学部案内編纂委員会 学部学生生活委員会
9日	理学研究科委員会教務検討小委員会 学部就職指導委員会
10日	大学院理学研究科委員会 教授会 人事教授会
11日	学部教育実習委員会
12日	学部入試改善委員会

工 学 部
-------

4月3日	学部教務委員会 学部入学試験検討委員会
4日	学部運営委員会
5日	教授会 研究科委員会 専任教授会 博士後期課程委員会
10日	入学式
11日	外国人留学生委員会
12日	学部新入生オリエンテーション
15日	授業開始
16日	仕様策定委員会（情報教育用電子計算機システム）
17日	新入生健康診断
22日	学部運営委員会
23日	学部教務委員会 学部入学試験検討委員会
24日	教授会 研究科委員会 専任教授会 博士後期課程委員会
26日	学部運営委員会

附 属 図 書 館
-----------

4月25日～26日	第47回北信越地区国立大学附属図書館協議会 （信州大学）
-----------	---------------------------------

地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー
---------------------

4月22日	地域共同研究センター運営委員会
-------	-----------------

**保健管理センター**

- 4月12日 新入生定期健康診断（人・経・理学部）  
16日 大学院生定期健康診断（全研究科男子）  
17日 新入生定期健康診断（教・工学部）  
19日 大学院生定期健康診断（全研究科女子）  
22日 X線間接撮影（3年・4年・大学院男子）  
23日 X線間接撮影（3年・4年・大学院女子）  
24日 在学生定期健康診断（教育学部）  
25日 X線間接撮影（3年・4年・大学院男子）  
26日 X線間接撮影（3年・4年・大学院女子）

資

料

## 平成8年度富山大学入学者数一覧

(学 部)

学 部	学 科 ( 課 程 )	入学者数	
人文学部	人 文 学 科	76 ( 2 )	
	国 際 文 化 学 科	44	
	言 語 文 化 学 科	91 ( 3 )	
	計	211 ( 5 )	
教育学部	小学校教員養成課程	100	
	中学校教員養成課程	51 ( 1 )	
	養護学校教員養成課程	21	
	幼稚園教員養成課程	32	
	情報教育課程	40	
	計	244 ( 1 )	
経済学部	昼間主 コース	経 済 学 科	157 ( 2 )
		経 営 学 科	127 ( 3 )
		経 営 法 学 科	100
		小 計	384 ( 5 )
	夜間主 コース	経 済 学 科	24
		経 営 学 科	22
		経 営 法 学 科	20
		小 計	66
	計	450 ( 5 )	
	理学部	数 学 学 科	54
物 理 学 科		45	
化 学 学 科		38	
生 物 学 科		39	
地 球 科 学 科		32	
生 物 圏 環 境 科 学 科		34	
計		242	
工学部	電 子 情 報 工 学 科	142 ( 5 )	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	106 ( 2 )	
	物 質 工 学 科	81	
	化 学 生 物 工 学 科	85	
	計	414 ( 7 )	
合 計	1,561 ( 18 )		

(大 学 院)

研 究 科	専 攻	入学者数
人文科学研究科 ( 修 士 課 程 )	日 本 ・ 東 洋 文 化 専 攻	12 ( 1 )
	西 洋 文 化 専 攻	3
	計	15 ( 1 )
教育学研究科 ( 修 士 課 程 )	学 校 教 育 専 攻	8
	教 科 教 育 専 攻	23
	計	31
経済学研究科 ( 修 士 課 程 )	地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	9 ( 5 )
	企 業 経 営 専 攻	8 ( 4 )
	計	17 ( 9 )
理学研究科 ( 修 士 課 程 )	数 学 専 攻	8
	物 理 学 専 攻	19 ( 1 )
	化 学 専 攻	23
	生 物 学 専 攻	16 ( 2 )
	地 球 科 学 専 攻	8
	計	74 ( 3 )
工学研究科 ( 博 士 前 期 課 程 )	電 子 情 報 工 学 専 攻	57 ( 3 )
	機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	33 ( 3 )
	物 質 工 学 専 攻	36 ( 2 )
	化 学 生 物 工 学 専 攻	25
	小 計	151 ( 8 )
工学研究科 ( 博 士 後 期 課 程 )	シ ス テ ム 生 産 工 学 専 攻	10 ( 2 )
	物 質 生 産 工 学 専 攻	10 ( 3 )
	小 計	20 ( 5 )
計	171 ( 13 )	
合 計	308 ( 26 )	

合 計 1,869 人

(注) 表中の ( ) は、外国人留学生で内数である。

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話(24)1755(代)